

同志社大学

2009年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010年3月15日提出

所属	職名	氏名
文学部 英文学科	準教授	白川恵子
研究題目	アメリカ独立・建国神話の構築と南北戦争以前期の大衆文化受容との関連についての研究	
研究成果 の概要	<p>2009年度の研究成果および研究進捗状況は以下の通り。</p> <p>(1) 口頭発表 「遺産相続の物語—George Lippard の都市犯罪ミステリ <i>The Empire City</i> (1849) と <i>New York: Its Upper Ten and Lower Million</i> (1553)」関西アメリカ文学会例会、(於：京都外国語大学) 2009年7月11日。</p> <p>(2) 共著 「売れる偉勲、憂うる遺訓—ウィームズの『ワシントン伝』再考」「『独立の時代—アメリカ古典文学は語る』 入子文子、林以知郎編著、京都：世界思想社、29-58頁、2009年6月。</p> <p>(3) 共著 「『アメリカン・イーグルとバード・ウーマン—初期アメリカの国家形成と先住民政策』『バード・イメージ—鳥のアメリカ文学』松本昇、西垣内磨留美、山本伸編著、東京：金星堂書店、現在印刷中。</p> <p>(4) 共訳 ヘンリー・ルイス・ゲイツ・ジュニア著、『シグニファイイング・モンキー—もの騙る猿／アフロ・アメリカン文学批評理論』東京：南雲堂フェニックス、松本昇、清水菜穂 監訳 (担当：「はじめに」「序章」 7-29頁) 2009年12月。</p>	